



Python ゲートウェイ接続の使 用法

Version 2023.1
2024-01-02

Python ゲートウェイ接続の使用法

InterSystems IRIS Data Platform Version 2023.1 2024-01-02

Copyright © 2024 InterSystems Corporation

All rights reserved.

InterSystems®, HealthShare Care Community®, HealthShare Unified Care Record®, IntegratedML®, InterSystems Caché®, InterSystems Ensemble®, InterSystems HealthShare®, InterSystems IRIS®, および TrakCare は、InterSystems Corporation の登録商標です。HealthShare® CMS Solution Pack™ HealthShare® Health Connect Cloud™, InterSystems IRIS for Health™, InterSystems Supply Chain Orchestrator™, および InterSystems TotalView™ For Asset Management は、InterSystems Corporation の商標です。TrakCare は、オーストラリアおよび EU における登録商標です。

ここで使われている他の全てのブランドまたは製品名は、各社および各組織の商標または登録商標です。

このドキュメントは、インターシステムズ社(住所: One Memorial Drive, Cambridge, MA 02142)あるいはその子会社が所有する企業秘密および秘密情報を含んでおり、インターシステムズ社の製品を稼動および維持するためにのみ提供される。この発行物のいかなる部分も他の目的のために使用してはならない。また、インターシステムズ社の書面による事前の同意がない限り、本発行物を、いかなる形式、いかなる手段で、その全てまたは一部を、再発行、複製、開示、送付、検索可能なシステムへの保存、あるいは人またはコンピュータ言語への翻訳はしてはならない。

かかるプログラムと関連ドキュメントについて書かれているインターシステムズ社の標準ライセンス契約に記載されている範囲を除き、ここに記載された本ドキュメントとソフトウェアプログラムの複製、使用、廃棄は禁じられている。インターシステムズ社は、ソフトウェアライセンス契約に記載されている事項以外にかかるソフトウェアプログラムに関する説明と保証をするものではない。さらに、かかるソフトウェアに関する、あるいはかかるソフトウェアの使用から起こるいかなる損失、損害に対するインターシステムズ社の責任は、ソフトウェアライセンス契約にある事項に制限される。

前述は、そのコンピュータソフトウェアの使用およびそれによって起こるインターシステムズ社の責任の範囲、制限に関する一般的な概略である。完全な参照情報は、インターシステムズ社の標準ライセンス契約に記載され、そのコピーは要望によって入手することができる。

インターシステムズ社は、本ドキュメントにある誤りに対する責任を放棄する。また、インターシステムズ社は、独自の裁量にて事前通知なしに、本ドキュメントに記載された製品および実行に対する代替と変更を行う権利を有する。

インターシステムズ社の製品に関するサポートやご質問は、以下にお問い合わせください:

InterSystems Worldwide Response Center (WRC)

Tel: +1-617-621-0700

Tel: +44 (0) 844 854 2917

Email: support@InterSystems.com

目次

1 Python ゲートウェイ・コードの更新	1
------------------------------	---

1

Python ゲートウェイ・コードの更新

このドキュメントの以前のバージョンで説明されていた Python ゲートウェイは、InterSystems IRIS バージョン 2020.3 のみ利用可能です。これは現在、Java、.NET、および Python をサポートしている InterSystems 外部サーバで実装されているテクノロジーの古いバージョンです。詳細は、“[InterSystems 外部サーバの使用法](#)”を参照してください。

Python ゲートウェイ・コードは、わずかな変更のみで、新しい外部サーバ上で動作するようになります。プロキシ・オブジェクトも、Python ゲートウェイで機能するのとまったく同様に機能します。主な違いは新しい `$system.external` インタフェースです。これによって、Python 外部サーバへの接続と Python プロキシ・オブジェクトの取得がずっと単純になります。例えば、以下の ObjectScript コードは、Python ゲートウェイを作成し、目的の Python クラスへのパスを定義し、自動的に接続を開始し、新しいプロキシ・オブジェクトを作成します。

```
set gateway = $system.external.getPythonGateway()  
do gateway.addToPath("C:\Dev\SomeClasses.py")  
set proxy = gateway.new("SomeClasses.ClassOne")
```

プロキシ・オブジェクトは、古い Python ゲートウェイの場合とまったく同じように引き続き機能します。その他の例は、“[InterSystems 外部サーバの使用法](#)”の“[オブジェクト・ゲートウェイ・コードのアップグレード](#)”を参照してください。

